

令和4年6月17日（金）博物館地域説明会（上野会館）

<質疑応答>

質問者①

質問：県内の他市町村には郷土史博物館はどのくらいありますか。富士市にあるのは新聞を見て知っているのですが、他市町村の様子は知りません。

回答：冒頭でも説明しました人口10万人以上の都市は、浜松、静岡、富士、沼津、磐田、藤枝、焼津、富士宮、掛川、三島です。

例えば浜松市には、浜松市博物館本館、分館、舞阪郷土資料館、市民ミュージアム浜北、春野歴史民俗資料館、水窪民俗資料館があります。静岡市には、静岡市登呂博物館、静岡市歴史博物館（令和5年1月開館予定）があります。富士市には富士市立博物館、これはかぐや姫ミュージアムですね。沼津市には、沼津市歴史民俗資料館、沼津市明治資料館、沼津市戸田造船郷土博物館。磐田市は磐田市香りの博物館という、これは特殊な寄付をいただいたものですが、これとは別に磐田市の見附学校、熊野伝統芸能館、旧赤松家記念館、旧見付学校磐田分校、池田の渡し歴史資料館、埋蔵文化財センター、豊岡農村民俗資料館、豊岡郷土資料館、ギャラリー長藤です。藤枝市は藤枝市郷土博物館、焼津市は焼津市民俗資料館、掛川市が掛川市二の丸美術館、三島市は三島市郷土資料館、これは楽寿園です。それ以外には島田市は人口9万5千人程ですが島田市博物館というものを持っています。必要であるので維持して、子供たちの勉強のためなどにも活用しています。

質問：文化会館内にある郷土資料館と芝川の埋蔵文化財センターを、博物館ができれば一緒にするということですか。

今こんな時代ですので、資材が高騰するじゃないですか。予算を立てるときに補助金もつくと思うのですが、できるだけ補助金を取れるような算段をした方が良いと思います。維持費管理費がかかり、箱物を作るとその先のことも考えたほうが良いと思います。

回答：今おっしゃったことは我々も気にしていますが、残念ながら博物館の補助金は十年以上前に終わってしまっているものが多いです。ただ、また最近になって、博物館は一つ持っているが観光的な活用を目指して、例えば富士宮ではそのような動きはないですが、千居遺跡を使ってもう一つ博物館を作ろう、といったようなことに関しては補助金を出そうか、という流れになっています。

その中で当てはまるものがあれば当然利用していきたいですが、現状では博物館というだけでは補助金が出る状況ではありません。ただ、そうは言ってもどうしても必要なものですので、財政当局とも詰めながらできるだけいろいろな財源を活用して進めていきたいと考えています。

埋蔵文化財センターについては、残念ながら今ある場所は保存に適さないというところがあり、一つには収蔵庫があそこしかないので、収蔵庫を移すとなると、収蔵庫には一番お金がかかりますから、博物館もまとめて作ったほうが合理的というのが私どもの考え方です。埋蔵文化財センターを移築する＝収蔵庫を作る、それに併せて展示・研究・整理作業をする場所をつけて供用していくという考え方で整備を考えています。

#### 質問者②

質問：博物館を新設するにあたっての担当は文化課ですか。建物の事などが大変ではないでしょうか。

回答：今のところ、まだ具体的に建設の体制という所までは進んでいません。どんな博物館にしようか、という議論が始まったところです。まずどういう建物、運営にするのかという所を文化課で担い、その後についてはまた体制を考えていかなければなりません。準備室を作るのか、文化課の人員を増やすのか、その時になってみないと分からないような状況ですが、いずれにしても今の体制をベースに増やしていくと思います。ただ、実際に進んでみないとわからないところです。

質問：人的な話ですが、学芸員はやたら誰でもなれる訳じゃないじゃないですか。もちろん、博物館ができると増員もされると思うんですけど、調査研究・収蔵物の整理等は大事な仕事だと思うんです。博物館ができて市民を相手にする仕事が増えると、そういう仕事が中断されてしまうのではないですか。

回答：現在の体制からすると学芸員が埋蔵文化財センターに3人、市史編纂室に1人、学術文化財係に2人で、この中で本来博物館で行う方が適している仕事も一部持っています。博物館新設分の人員をまるまる増やすというよりも、今ある仕事の中で、もともと博物館でやるべき仕事を移しつつ体制を整備していきます。ただ、博物館でどういう仕事をやっていくのかに関してはもう一度整備しますし、どのくらいの人員が必要かということも基本計画を策定する段階で決めていきます。

質問：長年人員が足りていないなと思っていたので、それでさらに博物館新設のための仕事や増員分の教育をやっていくとなると、今から計画的に人的資源を文化課の中で醸成していかないと箱物だけあって中身がスカスカになってしまうのではと心配しています。

回答：大変ありがたいお言葉だと思っています。私どもも人員の拡充、教育は今後頑張っていきたいと思っています。

#### 質問者③

質問：そもそも博物館を作ることは確定なんですか。

回答：今は博物館を作りたいがこんなものでどうだろう、と提案をした段階です。整備した

いものを検討し、市民の皆様には説明をしている段階です。博物館は我々としては必要で、作りたい、というところの説明になります。

質問：事業スケジュールの中の、『市民への周知』というところが今の段階だと思うのですが『作っていいんですか』と市民に聞いて『本当に必要だし作っていいよ』という市民からのゴーサインはどこで得るのでしょうか。作っちゃうんでよろしく、というような雰囲気を感じるのですが、どういうことなんですか。この市では、今まで作った公共施設が老朽化し、建て替えもできないし維持管理が大変になっていくから、どうやって長い間使っていくのかという計画を立てていると思います。人口減少や過疎化も進んでいます。当初の構想はバブルがはじけた時にうやむやになってしまったと言うし、この社会情勢の中で、なぜ今なのかということが分からないです。将来施設を維持していくのは子供たちだし、市民の了解を得る場は今後設けられるのですか。

回答：現在の市の状況で心配だよということですよ。

現在、市ではいろいろな事業を進めており、長寿命化の計画も立てて、長く使おうということをやっています。だからといって、いろいろなものを止めてそこにつき込むという訳ではなく、それをやりながらこっちをやる。

なぜ今かといいますと、博物館自体は平成の頃から建てたい、建てるべきだ、必要だと考える中で動き出しているという我々の感覚があります。

子供たちがこの箱を担うということもお話にありましたが、この博物館は、富士宮の未来を作るために、子供たちに富士宮がどんなところなのか知ってもらって次の世代に役立ててもらう為の施設です。子供たちに対する投資だと思っています。ここで市の歴史も知らないまま外に出て帰ってこないのではなく、この色々な歴史のある富士宮に帰ろうと思ってくれたり、よそにいても富士宮を誇りに思ってくれる、そういう方を育てていくのがこの施設の目的です。今すぐに効果は出ませんが、何十年後に結果として少しずつ現れてくるのかと思います。

質問者④

質問：今の話（③の回答）を聞いてとても素晴らしく思い、賛同するのですが、22.6億の建設費、今後30億ほどかかると思うんですけど、この額は富士宮には高すぎると思います。子供たちのためにも必要だと思いますが、だからといって20、30億も使う必要が富士宮にあるのかなと思います。

さらに運営費が年一億かかるとなると、建設するというだけではなく、ソフトの部分や、今ある施設を使うなどの方法を示したほうが未来の子供たちのために、頭を使ってお金を使わずにこんなものができたんだよ、とつなげられるのかなと思います。

回答：ありがとうございます。

これまでの説明会でも、学校の空き教室を利用する等、色々な意見をいただきました。

今我々は古文書や木簡も所蔵しているのですが、文化財保護審議会の先生方に今の収蔵の状況を見てお叱りを受けるような状態です。このままでは未来に残していけないというお叱りを受けた中で、展示は別の場所、資料館でやったら良いと言いましても、まずそもそも収蔵庫の建設が必要で、収蔵庫にいちばんお金がかかります。それらを活用して、先ほどの学芸員の話もありましたが、そういったものを、少しでも伝える箱がほしい、そこに行けば教えてもらえる、という拠点となる場所が欲しいので、学校ではなく、博物館という名前の施設が必要です。

もう一つは、論文を出すときに、博物館として論文を出すのと、富士宮市の学芸員として論文を出すのでは全く格が違います。(博物館として出すほうが格上)

学芸員が研究したものをもっと大きな所に出せる、という効果もあります。無駄なものではなく投資という風に考えていただきたいと思います。

質問：投資というのであれば、何十年間とこれだけの費用がかかっても大丈夫です、という根拠を示していただければと思います。

回答：今現在の状況は、まずどういったものを作りたい、必要だという基本構想になります。じゃあ必要だね、と皆様にご理解いただければ、そのあとの具体的な事を詰めていきます。今はまずなぜ必要なかを皆様に説明する場だと思っています。

#### 質問者⑤

質問：先ほどのご説明で、議会でも色々な意見が出た中でこの説明会に至ったのだと思うんですけど、郷土への理解愛着を育むための、子供たちへの教育の場ということですが、子供たちはすでに富士山学習発表会などを通じて相当地域のことを学習していて、事業参観や文化会館で発表する授業をやっていきますので、箱がないとそれができていないというのは子供たち本人にとっても不本意なんじゃないかなということと、食育を通した郷土愛の造成という目的で学校給食センターも作られたのですが、いざ建ててオープンしたら学校からの社会科見学の件数が伸び悩んでいるとのことで、理由は学校から給食センターへ行く交通手段が無く、学校側が自分でバスをチャーターしないといけない現実があるからとのことです。

博物館の候補地にも白糸等が挙げられていますが、実際子供たちが自転車を漕いで行けるような所が一つもありません。矛盾しているというか、不安が増えたというのが今回の説明会の感想です。これで計画が進んでいくのは怖いと感じます。また、私が質問した『博物館の建設について市民に広く是非を問う場は設けていただけないのか』ということに対しては、答えが頂けていない気がするのですが。

回答：市民に広く問うというのは、先ほど申し上げました通り、いろんな事業をやっていて、一つずつ市民にこれはどうですかと問うのではなくて、議会の方と市が提案して予算承認していただいた中で、次に進んでいくのがすべてのやり方だと思っています。また、市民の方から博物館が必要だ、作ってくださいという要望も受けています。

その中で行っていますので、これだけに特化してアンケートで答えてください、ということはやり方が違いますので、普通のやり方で進めさせていただきたいと思いません。

質問：額が大きいので……。児童館や学校給食センター等は建てることに反対する人が居なかったから説明会が必要ではなかったと思います。博物館説明会は各公民館で丁寧に説明してありがたいんですけど、逆に言うと市民の理解不足や、そもそも必要だという声が圧倒的多数ではないということの表れではないかと懸念しています。必要だということを強く訴えて署名を集めている団体も見受けられません。不安です。

回答：皆様に理解していただかないといけない事業ですので、私たちは丁寧に説明しています。そのうえでご判断をいただき、次のステップに進めていただきたい。今そういう段階です。

質問：最終的な判断は議会がするのですよね？

回答：はい。今回、私どもとしては様々な意見をいただいた中で一個一個説明して、できるだけ多くの方に理解をいただいた上で進めていきたいと思っています。

質問者⑥

質問：お金は、先ほど別の方がおっしゃったようにこれからどんどん足りなくなると思いますが。そうなった場合、今水をかぶってしまうような位置に収蔵されている埋蔵文化財センターの文化財は絶対に安全なところに移さなければいけないと思うんですが、もし、どうしてもお金が足りずできないのであれば、展示スペースは無くても、絶対に必要な収蔵庫だけにすればもっと市民の理解も得やすいと思います。

回答：整備のやり方をスケジュールで挙げていますが、絶対にその通りにしなければならぬという風には考えておりません。

一般的に、この事業だとこのように進むということを示しています。先ほどおっしゃっていただいたように収蔵庫を先に作って、後から時期を見て展示施設を作っていくという考え方も今後、基本計画の検討の中では考えていかなければと思います。ただ、現在必要な施設としては、このような機能が無いとやっていけないよねということがあります。

質問：博物館法の、博物館と名乗ることが必要ということですか？

回答：そこにこだわっているわけではないのですが、何回か分けてやっていくとしてもゆくゆくは博物館としていかなないと機能としては果たせないということです。収蔵庫については、箱だけ作ったら何とかなるというものでもないです。収蔵するためにはどうしても調査、研究、整理をするスペースも必要になります。そういったことを含めて順番に整備していくという考え方もあります。そこはまだ今後、検討していくような形をとりたいと思います。

回答：収蔵だけして次の世代に渡せばいいということでは、収蔵品を学芸員が調査研究し市民の皆さんにお知らせする場がなくなってしまうわけですね。

会議室でやればいいという話になるかもしれないですが、博物館で話をする事に比べれば、市役所の会議室で話をしても、なかなか人は集まらないですよ。そういう効果もあるということをおきたいです。

今ここでどうしても全部やらなければいけないという話ではないですが、市民やよその人に研究の成果を見て知ってもらい、知識として知ってもらうことも学芸員の仕事です。木に例えると果実の部分です。根っこでいろいろ研究して、そこを吸い取って、最後にできた果実の部分を市民の皆様に提供しようというのが博物館です。収蔵、研究だけなら果実を腐らせて落としているのと同じです。学芸員も何十年か経つと退職していくので、学芸員の頭の中にあるものをより多くの人に伝えていかないとやっていく意味がないということです。

質問：収蔵、研究する施設は必要ですが、発表の仕方はいろいろあります。実物を見るのは大切ですが、優先順位としてはプロが使う収蔵庫のほうを先に整備していただきたい。今後展示の形は色々変わっていくと思うので、もっと未来も見越して考えていただけたらと思います。

回答：大変貴重な意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。